

# 議会だより



補欠選挙により新体制となった野辺地町議会

## 9月 定例会

議案審議内容	2～4
一般質問	5～10
委員会報告	11～13
各種委員会構成・新議員紹介	14
議会活動	16
29年度会議等実績	17
議会の動き、議会からのお知らせ、12月定例会の日程等	18

# 平成30年度 一般会計・特別会計 決算を認定！！

## 一般会計の黒字額は467万円

30年第5回9月定例会は、9月10日から14日までの5日間の会期で行われました。  
町長から、報告事項2件、承認事項2件、29年度各会計決算認定7件、30年度補正予算4件、  
人事案件2件、その他の案件3件が提出され、それぞれ承認、可決、同意しました。

### 各会計の歳入歳出決算

会 計	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額	
一 般 会 計	62億9,352万円	62億8,843万円	467万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業	20億1,275万円	19億5,288万円	5,987万円
	後期高齢者医療	1億5,505万円	1億5,374万円	131万円
	介護保険事業	1,732万円	1,669万円	6,285万円
	介護サービス事業	822万円	642万円	180万円
	下水道事業	2,501万円	2,501万円	0万円
水 道 事 業				
	○収益的収入及び支出	2億6,542万円	2億2,650万円	3,892万円
	○資本的収入及び支出	4,580万円	1億3,652万円	※△9,072万円

※水道事業における、基本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、建設改良積立金で補填した。

#### 健全化判断比率の 状況

町の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生が必要か判断するための、4つの判断比率を、国の基準と比較してみました。

■実質赤字比率  
(国の基準15%)

■連結実質赤字比率  
(国の基準20%)

いずれも赤字比率は発生していません。

■実質公債費比率  
(国の基準25%)

全会計のほか、一部事務組合も含まれ、6.3%です。

■将来負担比率

(国の基準350%)  
全会計のほか、一部事務組合や地方公社(土地開発公社)も含まれ44.9%です。

いずれの比率も国の基準を下回っています。

#### ◆用語説明

##### ○実質赤字比率

町の基本的な仕事を行うための予算である「一般会計」等の赤字割合を示す比率。

##### ○連結実質赤字比率

「一般会計」に加え、国民健康保険事業や水道事業などの「特別会計」すべてを含めた場合の赤字割合を示す比率。

##### ○実質公債費比率

一般会計や特別会計が負担する地方債(国や金融機関から借り入れ、一會計年度を越えて返済する長期借入金)の、償還金の大きさを示す比率のことです。過去3ヶ年の平均値を表す。

##### ○将来負担比率

一般会計や特別会計などの地方債や、将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高の程度を示す比率。

# 29年度に実施した主な事業

( ) 内は28年度決算額

青い森旅ショップのへじ	300万円 (同額)	子ども医療費給付事業	1,121万円 (1,269万円)
バス路線維持対策費	1,293万円 (1,208万円)	各種健(検)診・予防接種等	3,770万円 (4,136万円)
医療療養給付費負担金	1億7,084万円 (1億5,037万円)	妊婦健康診査業務	741万円 (805万円)
保険基盤安定繰出金	4,438万円 (4,366万円)	家庭ごみ収集業務	3,427万円 (同額)
介護給付費繰出金	1億8,584万円 (1億8,121万円)	青年就農給付金事業	300万円 (450万円)
更生医療給付費	1,510万円 (1,036万円)	祇園まつり補助金	70万円 (50万円)
障害福祉サービス費等	3億2,845万円 (3億449万円)	道路新設改良工事費	8,804万円 (1億1,762万円)
児童手当(子ども手当)	1億6,177万円 (1億6,779万円)	除雪対策費	1億238万円 (7,904万円)
すこやか医療費	1,328万円 (1,175万円)	小学校整備費	1億632万円 (970万円)
乳幼児医療費	1,258万円 (1,276万円)	河川災害復旧費	826万円 (2,136万円)

## 30年度 補正予算

補 正 額 総 額

〈 一 般 会 計 〉

( 第 2 号 )

790万円 ○ 64億3,090万円

[町議会議員補欠選挙費の増]

( 第 3 号 )

2,080万円 ○ 64億5,170万円

[学校施設費の増]

( 第 4 号 )

3億1,300万円 ○ 64億8,300万円

[老人福祉費や障害福祉対策費、児童保育費等の増]

〈 特 別 会 計 〉

国民健康保険事業

( 第 1 号 )

1億2,396万円 ○ 17億7,149万円

[保健衛生普及費等の増]

後期高齢者医療

( 第 1 号 )

132万円 ○ 1億6,243万円

[一般管理費等の増]

介護保険事業

( 第 2 号 )

6,285万円 ○ 18億1,554万円

[介護給付費準備基金費等の増]

# 9月定例会の議案審議結果

報告第7号	29年度土地開発公社事業報告及び決算	—
報告第8号	29年度一般財団法人観光協会事業報告及び決算	—
承認第6号	専決処分した事項の報告及び承認（30年度一般会計補正予算（第2号））	全員承認
承認第7号	専決処分した事項の報告及び承認（30年度一般会計補正予算（第3号））	全員承認
議案第41号	29年度一般会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第42号	29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第43号	29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第44号	29年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第45号	29年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第46号	29年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	全員賛成認定
議案第47号	29年度水道事業特別会計決算の認定	全員賛成認定
議案第48号	30年度一般会計補正予算（第4号）	賛成多数可決
議案第49号	30年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第50号	30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成可決
議案第51号	30年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成可決
議案第52号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例	全員賛成可決
議案第53号	過疎地域自立促進計画の変更	全員賛成可決
議案第54号	公有水面埋立	全員賛成可決
議案第55号	消防委員会委員の選任	全員賛成同意
議案第56号	教育委員会委員の任命	全員賛成同意

議案第53号 過疎地域自立促進計画の変更  
新たに、同計画に除雪機械（4tダンプ）整備事業を追加しました。

## ● 過疎地域自立促進計画

人口減少等に伴い、生産機能や生活環境の整備等が他地域に比べて低位にある地域を是正することを目的に、総合的対策を実施するため作られる計画のこと。計画に登載された事業を実施する場合、償還等の面で優位な過疎対策事業債（地方債）を充当できるなどのメリットが生じます。

## 議案第54号 公有水面埋立漁協沖

野辺地568番地先の公有水面の埋立について、異議なしとして議決されました。

### 出願1

埋立面積 3800・29㎡  
用途 漁港施設用地、護岸

期 間 船揚場（維持補修兼用）  
着手の日より3年以内

### 出願2

埋立面積 1199・97㎡

期 間 漁村再開発施設用地  
着手の日より1年以内



## 議案第55号 消防委員会委員の選任

消防委員会委員の欠員補充として、杉山福行議員を選任することに同意しました。任期は、31年4月30日まで。

## 議案第56号 教育委員会委員の任命

教育委員会委員、中村公允氏なかむらこういんの任期が30年9月30日に満了することから、同委員の再任に同意しました。



# 9月定例会では 5名 の議員から一般質問

次のページから、登壇順で掲載します。

## 6ページ 赤垣 義憲 議員

問1 若者の声が反映される町づくりを！

問2 少子高齢化に呼応した町づくりを！

問3 定住促進への対策を！

問4 柔軟性のある町づくりを！

## 7ページ 中谷 謙一 議員

問1 みちのく丸見学者へのアプローチは？

問2 町文化財とみちのく丸の関連付けは？

問3 旧町名の復活を！

## 8ページ 江渡 正樹 議員

問1 認知症ケア ユマニチユードの推進を！

問2 嚥下療法の理解力向上を！

## 9ページ 高沢 陽子 議員

問1 児童生徒の給食費への補助を！

問2 柴崎地区健康施設の有効活用に向けた支援は？

## 10ページ 野村 秀雄 議員

問1 ふるさと納税への真剣な取り組みを！

問2 財政破たんでは？

問3 大型事業の再考を！

# 町政の「ム」が聞きたい！



## 一般質問

町の行政全般に関し、執行者所見や疑義について質問するものです。

質問する議員も、回答する行政側も十分な時間が必要なことから、事前に質問内容を通告する通告制が採用されています。質問時間は1名に対し質問答弁を含め60分以内で行われます。

再質問からは一問一答方式が採用されています。また、一般質問など、

定例会の会議録は議会事務

局で閲覧が可能です。

閲覧希望の方は議会事務

局までお越しください。



# 問1 若者の声が反映される町づくりを！

# 問2 少子高齢化に呼応した町づくりを！



あかがき よしのり  
赤垣 義憲議員

## 問1

若者など、町民参加型の町づくりを進めてはどうか。

町長 「共に豊かな協働のまちづくり」を念頭に進めていきたいと考えています。

## 問2

①小学校の統廃合を町民・行政ともに考えていかなければならないのでは。

町長 7月に立ち上げた「教育構想検討委員会」において検討した内容を今年度と来年度で取りまとめ、その後パブリックコメント実施により、広く町民の皆様からの御意見を頂戴したいと考えています。

②少子化対策の一つとして小中学校の学校給食費の無料化を図ってはどうか。

町長 経済的支援が必要な世帯に対しては継続して軽減措置を図っていくという、これまで同様の方針で運営に努めていきたいと考えています。

③県立高校再編計画への考えは。

町長 野辺地高校及び野辺地西高校の存続の一助になるものと期待し、7月に締結した「教育連携パートナーシップ協定」による取り組みを軌道に乗せることに力を傾注したいと考えています。

## 問3

他市町村からの定住促進を促すため工夫を凝らしては。

町長 転入者への新築住宅建設補助制度や、転入若者夫婦世帯が民間賃貸住宅に入居した際の家賃補助のほか、空き家バンク制度、こがぶ収穫やホタテ漁の体験移住などで、若者の転入を促進していきたいと考えています。

## 問4

①3大事業（庁舎・新総合体育館・ベイフロント計画）に係る建設費の財源は担保されているのか。

町長 国の交付金や、過疎債等の起債との組み合わせにより、町からの支出を限りなく抑えて進めていきたいと考えています。

②①の3大事業の建設後の毎年の管理運営費の見込みは。

町長 庁舎や新総合体育館では需用費や光熱水費等が、ベイフロント計画では人件費や施設維持費等が想定されますが、今後設計を進める中でランニングコストの低減となるよう努力していきたいと考えています。

③各年度の事業費や借入金の返済額は、財政運営計画に反映されているのか。

町長 反映し調整しています。

④原子力立地給付金を町が全額使用する最終年度は。

町長 統合小学校の建設も考慮しなければならぬため、期限は定めていません。

⑤公立野辺地病院の改築や新築計画は、横浜町や六ヶ所村との合意がなされているのか。

町長 北部上北広域事務組合が対応すべきと考えていますので回答は控えさせていただきます。

## 問3 定住促進への対策を！

## 問4 柔軟性のある町づくりを！



# 問1 みちのく丸見学者へのアプローチは？

## 問2 町文化財とみちのく丸の関連付けは？



なかや けんいち  
中谷 謙一議員

### 問1

みちのく丸見学者に対し、町内での買い物や食事などをしていただくよう積極的なアプローチが必要では。

町長 船内公開事業では、町外よりお越しいただいた方々に「まち歩きマップ」や「ランチのとれるガイドマップ」を配布しています。また、「お店とメニュー」と題したチラシを作成し、女性客や若い年齢層をターゲットとした取り組みを現在進めています。

### 問2

国の文化や伝統を語るストーリーを文化庁が認定する「日本遺産」として、『荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間〜北前船寄港地・船主集落〜』に当町が追加認定されたが、その日本遺産構成文化財である8つの町の文化財を今後みちのく丸とどのように関連付けていくのか。

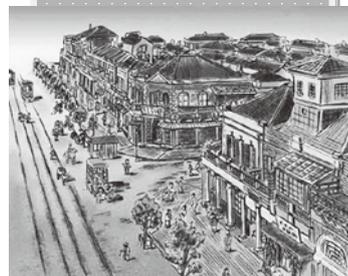
町長 その第一歩として制作した、みちのく丸と「浜町の常夜燈」「のへじ祇園まつり」で構成されたポスターを活用していく予定です。

### 問3

のへじ祇園まつりの各山車の先頭を進む「町印」の旧町名は、現在も自治会の名前のほか、様々に愛着を持って使われ続けているが、旧町名の復活を検討されてはどうか。

町長 旧町名は地域の歴史資源として貴重な文化財であり、過去の人々の知恵や歴史を知ることが未来を向いた街づくりに繋がるものと言えますが、町民の皆様の金融機関等への住所変更手続きや、大事業化が予想されますので、検討を重ね慎重に対処したいと考えています。

## 問3 旧町名の復活を！



### 旧町名の復活

石川県金沢市の「主計町<sup>かずえまち</sup>」の復活を皮切りに、現在様々な市町で検討や運動が行われています。復活により愛着が増し、地域内の交流が増えるなどのメリットが生まれる反面、住居表示法に関する法的な問題や、住民等の費用負担などのデメリットが生じる恐れもあります。明治時代の当町は、現在の『字野辺地』区域内で、「神明町」など8以上の町名があったことが確認されています。



# 問1 認知症ケア ユマニチュードの推進を！



えとまさき  
江渡 正樹議員

## 問1

人間の尊厳に基づいた「見る」「話す」「触れる」「立つ」の理念を具体化した、認知症ケア『ユマニチュード』の理解と普及を図ってはどうか？

〔町長〕数年前から当町の介護施設や認知症対応型のグループホームにおいて『ユマニチュード』の考え方を取り入れ、認知症のケアを実践しています。

認知症の正しい理解とケアについて「目で見て話す」「驚かせないように優しく触れる」「自尊心を傷つけない」等『ユマニチュード』の考え方や技法を取り入れ、普及に努めていきたいと考えています。

### ユマニチュード

心身の機能が低下し、他者に依存せざるを得ない状況になっても「人間らしい」存在であることを支えるケアメソッド（看護法）。フランス語で「人間らしさ」の意味。発祥地であるフランスでは400を超える病院やケア施設が導入、国外では日本を含む数か国で実践されており、画期的な認知症ケアとして注目されています。

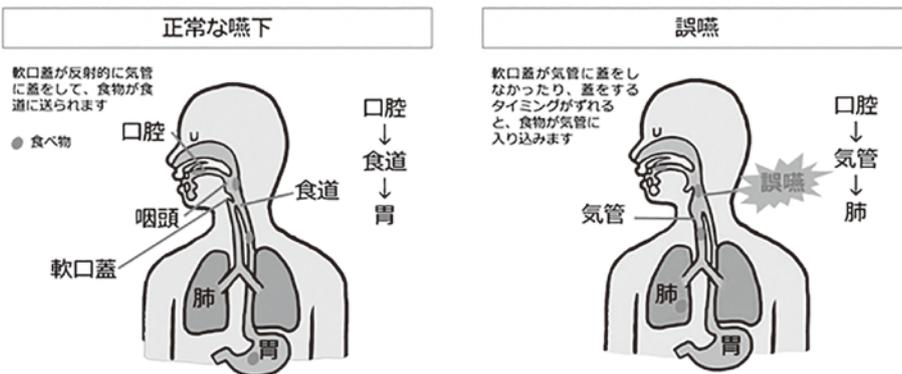
## 問2

# 問2 嚥下療法等の 理解力の向上を！



## 嚥下のしくみ

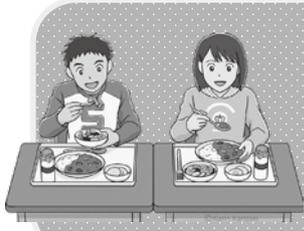
通常食べ物は口から咽頭を通過して食道から胃へ運ばれますが、食べ物が誤って気管に入ってしまうことがあります。この現象を「誤嚥」といいます。誤嚥は窒息や肺炎を招く恐れがあり、注意が必要です。



死ぬまで自分の意思で食事や排泄が出来るよう、食事に対する嚥下（えんげ）・モノを飲み込み胃に送ること）療法や排泄に関わる理解力向上を図ってはどうか。

〔町長〕当町では「介護予防教室」や、住民主体の介護予防活動を支援する「みんなのステーション」において、高齢者の社会参加の機会をつくり、地域とのつながりや生きがいを持てるよう介護予防体操や筋力トレーニング、口腔機能体操、レクリエーションなどを行っています。

「嚥下療法」や「排泄」に関する理解と「介護予防対策」について、より一層の普及啓発を図っていくため、地域住民参加型の研修会の開催等も検討していきたいと考えています。



# 問1 児童生徒の給食費への補助を！



たかさわ ようこ 議員  
高沢 陽子議員

## 問1

子供たちの健康と健全育成、保護者の負担軽減のため、給食費を50円から100円アップし、町が半額補助してはどうか。

〔町長〕近年のパンや米飯等の基本物資の購入価格の値上がりに対応するため、今年度の当初予算においてそれぞれ10円を上乗せし、国が定める学校給食摂取基準にも十分配慮した上で給食の提供を行っています。また、来年10月の消費税率の改定に加えて、食材料費等の物価の上昇が続くことが見込まれていることから、今後は食材料費の見直しの検討もしなければならない時期にあると考えていますが、準要保護世帯など、支援が必要な世帯についてはしっかりと支援していきたいと考えています。

### ●学校給食摂取基準

児童生徒の健康の増進と食育の推進を図るため望ましい栄養量を算出したもの。

当町の給食では、「こかぶのなめ苺和え」や「ホタテの中華煮」、「長芋豚汁」など、町の特産品を活用した地産地消のメニューが数多く提供されています。

## 問2

### 柴崎地区健康施設等 有効活用に向けた支援は？

## 問2

①柴崎地区健康施設等の有効活用に向け、若者たちの企画への継続支援や、共に盛り上げていく体制を考えているか。

〔町長〕住民と行政のパートナーシップによる持続可能なまちづくりを推進するため、昨年度より3人以上で構成する町内の団体・グループに対し、「協働のまちづくり推進事業」の補助金を交付しています。またイベントテントやテーブル等開催に必要な物品に関しても、貸し出しなどの支援を行っています。

②①のようなイベントを支援する担当職員にとって、夜間や土日の支援は通常業務を圧迫していないか。

〔町長〕通常業務への支障はなく、課内で常に協力・連携をもって業務しており、問題はないとの報告を受けていますが、職員への過度な負担とならないよう配慮していきます。



町民若手有志等により開催されたイベント

上) 5/27 「映画上映会」

下) 9/1 「キャンプ&ナイトマーケット」

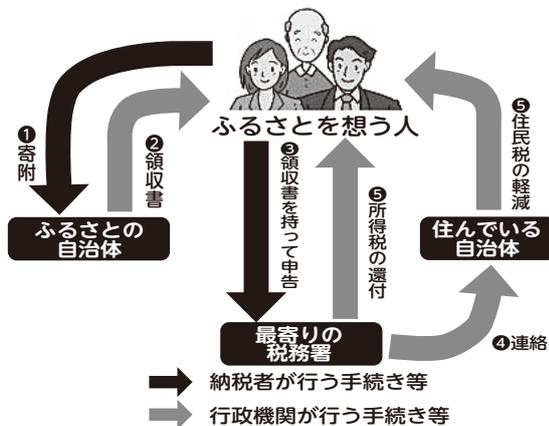




のむら ひでお  
野村 秀雄議員

# 問1 ふるさと納税への真剣な取り組みを！

## ふるさと納税の仕組み



### 問1

新聞紙上において当町のふるさと納税は赤字と報道されたが、真剣に取り組んでいるのか。

**町長** 調査で対象となった町民税の寄付金控除額には、ふるさと納税のほか様々な寄付金控除も集計されており、実状との食い違いがあるため赤字ではありません。

また、昨年度末には寄付金額の段階に合わせて「特産品詰合せセット」6種類を制作し、さらに

9月からは返礼品として「活木タテ」を選択可能としています。これらの返礼品の増加に伴い、先月には町ホームページのふるさと納税ページをリニューアルし、返礼品の写真掲載を充実して視覚的にも選択しやすいよう工夫しています。

## 問2 財政破たんでは？ 問3 大型事業の再考を！



### 問2

29年度決算では経常収支比率が101%となっているが、実質的に使えるお金がなく財政が破たんしているのでは。

**町長** 臨時的な収入、具体的には電源立地地域対策交付金や基金繰入などで、ある程度の施策を行うことは可能であり、使えるお金がない、財政が破たんしているというものではありません。

### 問3

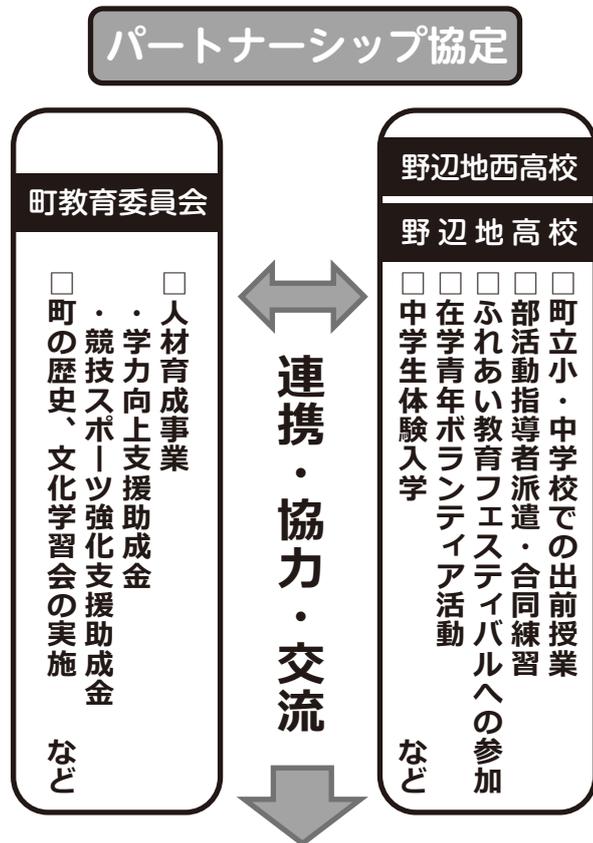
今年度以降も大型の公共投資（新総合体育館、ベイフロント計画、公立野辺地病院耐震化・改築、小学校統廃合等）が見込まれているが、実施の可否や優先順位の再考をすべきでは。

**町長** 29年4月に主要担当課長で構成される「政策調整専門委員会」を設置し、事業の現状、課題、対象、手段、意図、スケジュール、財政運営上の見地や必要性、有効性、効率性、公平性等の観点から優先度の検討を行い、「庁議」への最終報告と協議を経て、最終的な事業施策の決定を行っています。

29年度に政策決定された事業については、今年度の事業予算を議員の皆様から御決いただきました、庁舎建設事業や総合体育館建設事業等に着手していることから、今後も町民の皆様には各事業の概要を分かりやすくお知らせしながら進めていきたいと考えています。

学校教育課

①教育連携パートナーシップ協定（平成30年7月11日締結）



活力ある個性豊かな  
教育活動の推進

・協定締結の目的  
多様化する子供たちへの教育への対応や、活発な教育活動の推進を図るとともに、両校と連携することで地域における教育力の確保と向上を目指す。

委員  
『学校教育の一環として祇園まつりとの連携は考えているか。』  
学校教育課  
『野辺地西高校の生徒多数が祇園まつりに参加されていますが、今後より一層の連携について検討していきたいと考えています。』

②町教育構想検討委員会の設置

第2期町教育振興計画の期間が満了することを受け、次期計画を策定するにあたり幅広い意見を反映することを目的として設置。7月26日、13名の方へ委嘱。

総務常任委員会

8月8日

地域戦略課

◆青森県地域おこし協力隊ミニ合同募集説明会

6月14日千代田区有楽町「NPO法人ふるさと回帰支援センター」において開催。こがぶ農家への就農移住相談会を行い、4組5名に説明。年内には来年度の採用者を決定する見込み。

委員

『農協から土地を借りられるなど優遇されるのか。生活するに事足りる面積か。』  
地域戦略課

『現時点でも、町と地権者が協議して5町歩程度貸付していただいております。こがぶ農家として十分自立できる規模の土地と考えています。』

委員

『協力隊は将来的にどの程度増やしていくのか。』  
地域戦略課

『農協や農業委員会など関係機関と密に相談しながら、農地の確保も含め募集を進めていきます。』



税務課

①町税等の収納状況

・29年度  
個人町民税・法人町民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税いずれも前年度を上回る状況。

・30年度

7月31日現在では、個人町民税・固定資産税・国民健康保険税が前年度を下回る厳しい状況。軽自動車税はやや伸びている。

②地方税共通納税システム

31年度施行に向け、現在改修を進めている。

地方税共通納税システム

インターネットを利用し、地方税を電子納税できる共通システム。

納税者の利便性向上や、紙の書類による収納事務を担う指定金融機関や各自治体の事務負担軽減が期待されています。また、導入により、現行で各企業が従業員に住む各市町村ごとに納税を行っているのを、ネット上からの手続きで各自治体に税金が振り分けすることなどが可能となります。

財政課

◆一般会計決算の概要

区分	金額		増減額
	28年度	29年度	
歳入決算額	63億6,567万円	62億9,352万円	▲7,215万円
歳出決算額	63億1,215万円	62億8,843万円	▲2,372万円
歳入歳出差引額	5,352万円	509万円	▲4,843万円
翌年度へ繰越すべき財源	759万円	42万円	▲717万円
実質収支額	4,593万円	467万円	▲4,126万円

ここがPoint!

委員  
「29年度末での地方債残高と正味借金は。」  
財政課  
「臨時財政対策債と過疎対策事業債等で61億7151万円余りで、実質負担見込額は11億7900万円余りです。」

地方債

① 臨時財政対策債  
国の地方交付税の財源が不足した場合、その穴埋めとして自治体に借金させる地方債。その償還は後年度の地方交付税で100%措置がなされます。実質的には地方交付税の代替財源。

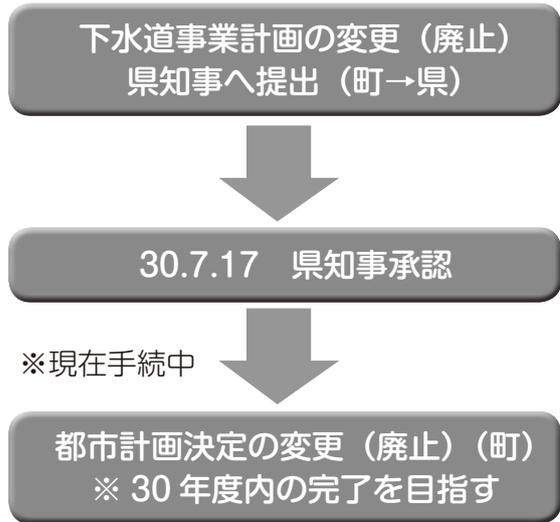
② 過疎対策事業債  
過疎地域の市町村が「過疎地域自立促進市町村計画」に基づいて行う事業の財源として発行が認められる地方債。元利償還金の交付税措置率は70%。

建設産業保健衛生常任委員会

8月3日

建設環境課

① 下水道事業廃止に係る進捗状況



ここがPoint!

- ① 補助返還金は求められない
- ② 財産処分に係る補助金返還なし
- ③ 財政融資の一括償還なし



② 蒸気機関車(野辺地小学校グラウンド設置)の管理

建屋鉄骨、機関車本体の錆や汚れが著しいことから早急な塗装修繕が必要。周辺の整備については、将来小学校の統廃合による建設計画時に併せて検討する。

③ 新町地区への都市公園の整備

経緯 6月議会で議員より、旧熊谷鉄工所跡地(新庁舎建設予定地向い、面積1081.09㎡)に公園を整備してはとの提案を受け検討。検討結果 役場庁舎移転により今後民間資本による開発投資も期待される地域であること、役場庁舎跡地(行在所含む)の利用計画も今後検討されることなどを踏まえ、現状のまま推移を観察する。

# 建設産業保健衛生常任委員会

8月3日

## 地域戦略課

◆30年度事業経過報告

5月以降の主な実施事業		
期 日	事業名	概 要
5/24	北前船日本遺産追加認定セレモニー	役場前にて横断幕の除幕式
5/25～27	北前船寄港地フォーラムIN大連への参加	町やホタテ、スキー場等のPR
6/4	東京都内にてトップセールス	みちのく丸や葉つきこかぶ等のPR
6/5	アンテナショップにてセールス(2アンテナショップ)	東京都内での葉つきこかぶ販売に向けたセールス ※7月より販売開始
6/26	北前ザンプリコ(ミュージカル)	野辺地小学校講堂にて実施(観劇数364名)
7/12～14	北前船寄港地フォーラムIN坂井市三國湊	北前船研究交流セミナーや町特産品等の展示販売
7/15	①常夜燈フェスタ及び花火大会 ②みちのく丸一般公開	①入込数フェスタ約4,000人、花火大会約18,000人(いずれも前年より増) ②見学数316人
今後の主な実施予定事業		
～10月	みちのく丸一般公開	団体等の船内見学
①8/31～9/1 ②11/15～17	北前船寄港地フォーラム ①新潟県長岡市 ②広島県尾道市	サイクリングを活用した誘客に向け、サイクリングツーリズムの視察を兼ねての参加
9/29～12/16	青森まち・むら30まるっと!フェア	特産品や製造品の展示販売

委員

「常夜燈フェスタと花火大会は今後も常夜燈公園で行うのか。」

※30年度は潮騒公園から常夜燈公園に変更して開催地域戦略課

「今後の実行委員会において、開催場所を変更したことによる成果や反省点を精査し、来年度に備えたいと思います。」

①「みちのく丸復元・利活用検討調査会」における有識者からのアドバイス  
船内・船底の風通しを良くした管理とカビ対策の徹底が必要。展示よりも維持保全に努めることが望ましい。

②今後の管理計画  
12月を目途に雪囲いを設置する予定。

③今後のみちのく丸利活用へ向けた取組み

〔町内(買物・食事)への旅行ツアー等団体誘客〕  
県内外の旅行会社やバス会社等へのセールス。

〔船内公開の周知PR〕

県内全市町村、観光等関係団体、報道各社へポスターとチラシの配布。  
〔みちのく丸・町内観光等情報のPR〕  
常夜燈市場や町観光物産PRセンター内でDVD放映。

〔現在検討している事項〕

・船内公開以外の事業。  
・教育的な活用に向けた取組み。

委員

「修繕後、水押の部分が前と違つのでは。」

地域戦略課

「船大工の助言を受け、現状を保つよう修繕しています。」

委員

「陸揚げに係る起重機船の航路費用の町負担分は。」

地域戦略課

「青森から野辺地、野辺地から石巻分を負担しています。」

委員

「昇降階段の使用目的は。」

地域戦略課

「主に管理用として使用していますが、一般公開等においても安全を確保したうえで使用しています。」



みちのく丸等の利活用推進特別委員会 8月21日

# 委員会等の構成



## 建設産業保健衛生常任委員会

委員長 江渡 正樹  
 副委員長 中谷 謙一  
 委員 蛭名 猛・岡山 義廣  
 高沢 陽子・赤垣 義憲



## 総務常任委員会

委員長 野村 秀雄  
 副委員長 野坂 充  
 委員 熊谷 晴雄・戸澤 栄  
 古林 輝信・杉山 福行

町民との語らいの場をつくります！



あかがき  
**赤垣**

よしのり  
**義憲**

- ・若者たちの声が反映される町づくり
- ・少子高齢化に呼応した町づくり
- ・柔軟性ある行財政運営の町づくり

## 新議員の紹介

平成30年8月26日（日）に執行された、野  
 辺地町議会議員補欠選挙において、5名の立  
 候補者から、次の3名の議員が選ばれました。  
 このことにより、議員の現数は12名となり  
 ました。

任期は平成31年4月30日まで。  
 新議員3名を紹介いたします。

# 補欠選挙後の



## 広報委員会

委員長 中谷 謙一  
副委員長 野坂 充  
委員 戸澤 栄・岡山 義廣  
野村 秀雄・赤垣 義憲



## 議会運営委員会

委員長 戸澤 栄  
副委員長 野村 秀雄  
委員 江渡 正樹・蛭名 猛  
岡山 義廣・杉山 福行

地域の声を町政に！



すぎやま  
杉山

ふくゆき  
福行

- ・子どもたちの未来を守ります
- ・地域の安全を守ります
- ・漁業者の収入安定に努めます

のへじに陽かい風を！



たかさわ  
高沢

ようこ  
陽子

- ・女性運動で学んだ視点で町づくり
- ・政策の決定の場に女性を
- ・町民の声を町政に届けます



8月7日、東通村・六ヶ所村・横浜町・野辺地町の4ヶ町村議会議員研修の一環として、アワビの種苗生産や中間育成を行うことで、アワビ生産量の増大を図ることを目的に整備された「東通村あわび種苗センター」を視察しました。

この施設は、総事業費約10億5800万円で、平成10年3月に完成しました。現在では、村内8漁協へのアワビの種苗配布を行い、(29年度の配布個数はおよそ56万個)ふるさと納税の返礼品としてアワビを活用するなど、村の水産業の振興と発展に繋がる工夫がなされています。

## 東通村あわび種苗センター視察

また、28年9月には「北北ジオパーク」として日本ジオパーク認定されたことを受け、今後多くの観光客が東通村を訪れることが予想されることから、アワビのほかブランド牛である「東通牛」、当町と同様に冷涼な気候を生かして栽培された「ブルーベリー」など、自然と食を連動させた観光誘客策として、これらを活用した様々な取り組みがなされているとの説明を受けました。

### ● ジオパーク

ジオ(大地)とパーク(公園)を組み合わせた言葉で、ジオ(大地)・エコ(自然)・ヒト(生活・文化)のつながりを学び、楽しむことができる場所。

日本ジオパーク委員会が認定する「日本ジオパーク(国内43地域)」と、ユネスコ世界ジオパークが認定する「世界ジオパーク(日本ジオパーク43地域中8地域)」があり、4年ごとに再審査が行われます。



## 福井県坂井市議会視察受入



## 県下町村議会議員研修会

7月12日、県下町村議会議員研修会が青森市民ホールで行われ、「今後の政局・政治の動きを読む!」と題し、読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏の講演を拝聴しました(日本テレビ系「ウエークアップ!ふらす」などに出演)。

講演では政治に特化した内容ではなく、廃校になった母校の体育館を図書館として活用するため、地元住民の力で書籍を分類整理したこと、その図書館が現在では地域の交流の場としても活用されていることなど、少子高齢化や過疎化が進む現代コミュニティの再生へのヒントなどを織り交せた、充実した内容が述べられました。

9月25日、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間〜北前船寄港地船主集落〜」を活用した観光について、研修を行うため来町された『福井県坂井市議会』(6名)の視察受入を行いました。対応した地域戦略課から、5月に実施した「ミュージカル北前ザンブリコ公演」や「北前船こども交流拡大プロジェクト」などの成果や、八戸工業大学へ委託し製作した「観光ITガイド用アプリ」を実際に体験してもらったなどし、これまでの歩みと今後のみちのく丸の活用について説明がなされました。

みちのく丸特別委員会江渡委員長から、常夜燈や行在所等、他の文化財との総体的な活用法を、引き続き特別委員会において熟議していく旨が述べられました。

# 平成29年度 野辺地町議会 会議等の状況

## 定例会の開催状況と傍聴者数

6月定例会	3日	25名
9月定例会	5日	28名
12月定例会	3日	37名
3月定例会	5日	42名

## 臨時会の開催状況と傍聴者数

29年度	1日	0名
------	----	----

## 各種委員会等の開催状況

議会運営委員会	9回
総務常任委員会	6回
建設産業保健衛生常任委員会	6回
広報委員会	7回
原子力エネルギー対策特別委員会	3回
みちのく丸等の利活用推進特別委員会	4回
全員協議会	4回
議員説明会	1回

## 議会報告会の開催状況と参加者数

第1回	12月17日	36名
第2回	3月27日	33名



平成29年度は、定例会のほか、全員協議会や議員説明会を開催し、行政機関をはじめ、各種団体や議員間での意見交換を通して、住民福祉の向上と町政発展に取り組みました。29年度において計16日間、4回開催された定例会における議会傍聴者は延べ133名で、28年度と比較して3名の増となりました。また、「町政の情報公開と町民参加を基本とした、野辺地町の持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的」として、25年12月に策定した「議会基本条例」に基づき、町民と語る会の「議会報告会」を2回開催しています。

